

高専通信

新入生へ贈る言葉

各副校長ご挨拶

新留学生紹介

卒業生・修了生へ贈る言葉

2021年度進路状況

VOL.159



新入生へ贈る言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これまで暖かく支えてくださったご家族の皆様方、心よりお慶び申し上げます。

令和四年度苫小牧工業高等専門学校入学式を挙行することができ、新入生を迎えられること、教職員一同、本当にうれしく思います。

今年度は、本科第一学年入学生 二百二十二名、第三学年入学外国人留学生 一名、専攻科第一学年入学生 二十一名、合計二百三十四名を迎えることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で、勉強に打ち込むことが難しい状況を乗り越えて、今日の晴れの日を迎えられたこと、本当におめでとうございます。

苫小牧工業高等専門学校は、昭和三十九年、一九六四年四月に設置され、五十八年の歴史を有します。今年度は高専制度が始まって六〇周年を迎え、全国五十一の国立高専では、約五万人の学生が最先端工学を熱心に学んでいます。

高専は五年間で大学卒業に匹敵する高いレベルの専門教育を行う学校です。さらに二年間の専攻科では、一層高度な専門教育と先端研究に取り組み、大学卒業と同じく学士の学位を授与されます。本科に入学される皆さんは、一日も早く専門教育を受けたいと心待ちにしていることでしょう。一年生の期間には、様々な専門分野の特徴を知ることができません。教員や先輩のアドバイスにしっかりと耳を傾け、自分に適した専門分野を見つけてください。また、本校は全国高専に先駆けて文部科学省の数理・

データサイエンス・AI教育プログラムの認定を受け、DX人材の育成にも力を入れています。高度な専門科目を理解するためには、幅広い基礎科目の深い知識が必要となります。これらについてもしっかりと取り組んでください。

これからの高専での日々は、決してすべてが順調ではなく、難しい勉強に苦勞をし、クラブ活動の厳しさに耐え、友人関係に悩むこともあるかと思えます。しかし、そのすべてが立派な技術者として社会で活躍するための準備であり経験となります。分からないことなどは一人で悩まずに、担任または他の教員に遠慮なく相談してください。本校には、皆さんを支援する様々な取組がありますので、積極的に活用してください。そして、高専における様々な学びと活動を通じて、自分自身の社会人力の向上に励んでください。

苫小牧高専の教育理念には、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」とあります。教職員一同、皆さんの学びをしっかりサポートしますが、皆さん自身の学び続ける姿勢が一番大事です。皆さんが楽しく充実した学生生活を送り、最後には全員が揃って卒業・修了の日を迎えられることを願っています。

令和四年四月五日

苫小牧工業高等専門学校長 小林幸徳



在校生からのメッセージ

1年生の皆さん、苫小牧高専によろこそ!

これから、長く濃い5年間が始まります。この5年間で心身ともに成長し、社会で生き抜く術を身に付けてください!

苫小牧高専では、5系の専門系が存在します。1年生の1年間は系選択を見極める1年間です。創造工学の授業をはじめ、先生や先輩のアドバイスなどたくさんの系選択の情報が、系選択に迷うと思います。この1年間では、自分は将来どんな仕事に就きたいのか、何に興味があるのかを考えてみて、それに近づけるにはどの系が一番近いのかを考えると後悔しない系選択ができると思います。

また、勉強だけでなく行事も全力で楽しんでください!高専の一大イベントの高専祭は普通高校と比較にならない規模の学校祭です。仲間と協力して作り上げる高専祭は、これ以上無い達成感と楽しさがあります!

とても長い5年間がスタートしますが、夢中で走っているといつの間にか5年生になっています。後悔しないためにも、全力で高専生活を楽しんでください!

5年1組 武藤遥来



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高専生活に少しは慣れてきたころでしょうか。高専の5年間というのは長いようであっという間に過ぎます。そのため、まずは目一杯新しい生活を楽しみましょう。もちろん勉強も大切ですが、せいかくの学生生活ですので、ぜひ部活や学生会活動を通して友達や先輩との交流を大切にしてください。

1年生の中には、系選択に悩んでいる方も多いかと思いますが。系選択は、これからの学校生活はもちろん、将来の進路にも大きく関わってきます。そのため先生や先輩からたくさん情報を得て、ぜひ悩めるだけ悩んでみてください。また、先輩からこの系はレポートや課題が大変という話をされるのがこれからあると思います。しかし、それだけで系を決めるのはあまりおすすめしません。なぜならばどの系も大変なときは大変だからです。なので、少しでも自分のやりたいこと、関心を持っているものがある系を選択してください。皆さんが悔いのない系選択を出来るよう心から願っています。

5年2組 岩崎晴香



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようやく、高専生活に慣れてきた頃でしょうか?

この1年間は2年生以降の分野に進むかを決める重要な年になります。この系選択で4年間はもちろんのこと、その後の将来も左右することになります。後悔しないよう、将来どんなことをしたいのか、どんな職業につきたいのかも考えながら、この1年間じっくり悩み、自分に合った系を見つけてみてください。

応用化学・生物系では、化学を中心とした専門知識を学びます。実験を多く行う系で、中学の化学の実験が好きだった学生にはよく合う系だと思います。

高校とは違い5年間の高専生活を長いと思うかもしれませんが、あっという間に過ぎていきます。コロナ禍ということもあり、なかなか思うようにはいかないこともあるかもしれませんが、この5年間が楽しく充実したものになることを心から願っています。

5年3組 玉川璃桜



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

高専に来たばかりで、わからないことや不安になることが多々あると思います。寮では、ホームシックになる学生も少なくありません。しかし、今後の学校行事や部活動などを通じて、友達や先輩との仲ができ、段々と高専生活に慣れてくると思うので、心配することはありません。

私たち、電気電子系では電力、電子回路、信号処理、コンピュータ、ロボット、通信、プラズマ、材料など他系に比べて幅広い分野を学ぶことができます。求人数も5系の中で毎年トップを誇っています。ただ、毎年、電気電子系に進む学生が少なく定員割れが起こっており先生方も頭を悩ませています。電気はイメージが湧きにくく、難しい分野ですが、学んでみるととても楽しくてワクワクします。なので、興味や好奇心がある1年生は、ぜひ、電気電子系に入ってください。

皆さんが充実した高専生活を送れるよう応援しています。頑張ってください。

5年4組 岡本昂大



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

1年生の大きな選択といえば、やはり系配属ではないかと思えます。既に決めている人も、まだ悩んでいる人も、この1年で各分野について知って、間違いなくここがいい!と言えるようになってほしいと思います。

情報科学・工学系ではハードからソフトまで、情報に関わる知識を広く学ぶことができます。実験・実習では、実際にはんだ付けをしたプログラムを組んだりして、「知っている」だけでなく「できる」ようになるので、情報系の知識を用いて何かをつくれる能力を身に付けたいという人は、ぜひ情報系に来てください。

高専生活は5年と長いです。ぜひ勉強だけでなく、自分の興味のあること、部活・同好会、学校行事など積極的にチャレンジしてみてください。高専は自由な時間が多くどんなことでも意外とできるので、とりあえずやってみましょう!皆さんが楽しい学校生活を送れるよう、応援しています。

5年5組 大西美月



第1学年担任からのメッセージ

1年生の皆さん、高専生活を楽しんでますか?入学後2ヶ月近くが経ち、だいぶ高専生活にも慣れてきた頃だと思えますが、90分の授業やその内容の難しさに慣れるにはまだまだ時間が必要かと思えます。しかし、今皆さんが勉強していることは、将来きっと役に立つはずなので、戸惑うことがあっても地道に学んでいってほしいと思います。

1年生のクラス担任教員をここで改めて紹介します。1組は山下徹先生(担当教科:物理基礎、英語)、2組は中野渉先生(担当教科:数学IA)、3組は金野幸吉先生(担当教科:数学IA)、4組は時田紗緒里先生(担当教科:国語IB)、5組は多賀健(担当教科:体育I・保健)です。皆さんと共に学んでいきたいと考えています。

ぜひこの1年時のクラスを大切にしてください。皆さんが2年生になり各系に配属された後は、5年生までクラス

のメンバーは変わりません。その時に、他の系にも友達がいることは、必ず皆さんの財産になるはずで。1年間仲間良く、そして互いに切磋琢磨して頑張っていきましょう!



GREETINGS

各副校長 ご挨拶

本年度も引き続き学生主事を務めさせていただくことになりました須田孝徳(機械系)です。学生主事補の佐藤森教授(応用化学・生物系)、近藤崇教授(都市・環境系)、佐々木彩准教授(総合人文科学系)とともに、課外活動、各種行事の企画・運営、学生会行事のサポートなどの業務を行い、本校学生が充実した高専生活を送れるような学校環境づくりを目指していきます。また、学生の窓口となる学生課、保健室、相談室などの部署と協力・連携しながら、皆さんを支えていきます。

昨年度は、12月の寒い時期となりましたが高専祭が開催できました。校外の皆さんに参加いただくことができませんでしたが、学生会の皆さんの創意工夫で、新しいカタチの高専祭になったと考えております。本年度も、コロナ禍ということもあり、課外活動や学校行事で、従来通りの活動ができないことが予想されます。この状況を皆さんで力を合わせて、そして工夫しながら、楽しい学校生活になるようにしていきたいと考えています。学生の皆様ならびに保護者の皆様のたくさんのご理解とご協力が必要となります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



副校長(学生主事) 須田孝徳

昨年度に引き続き寮務主事を務めます都市・環境系の中村努です。寮務主事補の池田先生(機械系)、大島先生(応用科学・生物系)、佐藤先生(総合人文科学系)、奥山先生(電気電子系)とともに、寮生活全般の指導を行ってまいります。今年度は新入寮生76名(1年生男子56名、1年生女子18名、3年生留学生1名、専攻科2年留学生1)を迎えることができました。多くの新入寮生にとって生まれて初めて親元から離れ、慣れない集団生活を緊張と不安の中で過ごしていることと思います。教職員一同、規則正しい寮生活を送れるようしっかりとサポートを心がけておりますが、ご不明な点等がございましたら、ご連絡をいただくと幸いです。

本校の学生寮は集団生活を通して多くの仲間とともに様々な経験を得ることのできる重要な場であると考えております。しかしながら、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本校学生寮においても様々な対策を取らざるを得ず、寮生および保護者におかれましても大変なご不便とご迷惑をおかけしております。寮生、保護者の皆様をはじめ関係各位におかれましても、世の中の状況がもとに戻るまで、もうしばらくご理解とご協力をお願いいたします。



副校長(寮務主事) 中村 努

2021年度に引き続き、2022年度も副校長(研究主事・専攻科長)を務めます応用化学・生物系の岩波俊介です。2022年度の専攻科ですが、創造工学専攻の2年生は機械系5名、都市・環境系2名、応用化学・生物系7名、情報エレクトロニクス系16名の計30名で、この中にはこの春ようやくモンゴル国から渡日できた留学生も1名含まれています。また、同専攻の1年生は、機械系5名、都市・環境系3名、応用化学・生物系6名、情報エレクトロニクス系7名の計21名で、この中にはフロンティア専攻の3名の学生が含まれます。専攻科に在籍するこの2年間には、一般科目や専門科目などの講義の他に学外研修や共同教育といった実務経験や協力会企業の課題に取組み、チームでプランニングをすることができる演習系科目や、2年間の研究成果をまとめる特別研究など、地域連携や創造(ものづくり)を体験しながら、リーダーシップやコミュニケーション能力を養成するプログラムが用意されています。コロナウイルスの世界的な蔓延が収まらず、まだまだ予断を許さない状況下ではありますが、副専攻科長の三上剛教授(情報科学・工学系)、松尾優子准教授(都市・環境系)と共に全教職員、ならびに後援会、協力会の皆様方のご協力のもと専攻科学生のさらなる学びの充実を念願すると共に、学びの機会の確保に努める所存です。今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長(研究主事・専攻科長) 岩波俊介

昨年度に引き続き、副校長(総務主事)・創造工学科長を務めます平野博人(応用化学・生物系)です。総務主事としては、点検評価、広報、施設・防災、国際化の推進及び国際交流、将来計画と多岐にわたる事項について担当いたします。総務主事補の稲川清教授(情報科学・工学系)、松田奏保教授(総合人文科学系)とともに円滑な業務遂行に努めてまいります。

コロナ禍における国際交流について、昨年度は、1日中英語を使ってさまざまなアクティビティに取り組む「English Camp」やモンゴル高専学生との「さくらサイエンスオンライン交流」などを実施しました。今年度は春休み期間における海外派遣が可能かどうかを検討する予定です。また、オンラインを活用した国際交流についても国際委員会の下で検討していくことになります。

種々の教育システムの点検評価、防災対策や施設設備改善の計画立案など、学生、教職員が安心して勉学や仕事に励むことができる環境整備にも努め、今後も創造性・探究心豊かな人材を輩出できるよう、教職員一同全力で支援してまいります。

保護者、同窓生、地域の皆様におかれましては、今後とも本校の教育改革並びに学生の教育にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長(総務主事) 平野博人

本年度も引き続き教務主事を務めます村本です。教務主事補の浅見准教授、有馬准教授、中村(嘉)准教授のサポートを得ながら、本校の教育環境の充実・改善に努めて参ります。

昨年度始まった文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」によって、本校がAI等に関する知識および技術について体系的な教育を行う機関であることが認定されました。また、今年度の新入生からのカリキュラムを一部変更し、全系共通の必修科目として「AI・データサイエンスⅠ～Ⅲ」等を新設してAI教育を充実させました。

さて、苫小牧高専ではDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めています。授業や各種連絡等でのTeams活用に加えて、授業や学生生活を支援する各種アプリを導入しました。既存の価値観や枠組みを根底から覆すほどの革新的なイノベーションとはいえませんが、可能な改革を着実に進めています。先進的な取り組みにチャレンジしている苫小牧高専で5年間学んだ学生諸君が、これからのSociety5.0の時代に活躍することを大いに期待しています。

保護者の皆様には今後とも本校の教育にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長(教務主事) 村本 充

新任教員ご挨拶

令和4年4月より機械系の教員として着任いたしました、金子友海と申します。出身は埼玉県ですが、北海道に住んでいる方が長いです。ここに来る前は、北海道科学大学短期大学部（旧、北海道自動車短期大学）にて自動車整備士を養成しておりました。

自動車が好きな学生が多かったので、学生とともに自動車を制作し、札幌モーターショーに出展しておりました。2011年には北海道自動車短期大学として公益社団法人自動車技術会が主催する「学生フォーミュラ日本大会」にも出場した経験があり、「省エネ賞第一位」を獲得しました。現在、旭川工業高等専門学校と合同チームを組んで、日産自動車株式会社様のLEAFのモータを使ったEV（電気自動車）を制作し、2023年大会への出場を目指しております。また、アナログゲームを用いた教育手法についても研究しており、市販のアナログゲームではなく、教育に資するアナログゲームを自作しております。最近「eモータスポーツ」の可能性にも興味を持っており、グランツーリスモSPORTとハンドルコントローラー、シートを使っての研究も行っております。「ちょっと話を聞いてみたいな」と思ったら、気軽に声をかけてください。よろしくお願いたします。

機械系

特命助教

金子友海



4月から、都市・環境系の助教に着任しました酒井佑禎です。どうぞよろしくお願いいたします。3月までは神奈川県にある海洋開発研究機構というところでポストドク研究員として勤務しておりました。

出身地は静岡県で、静岡県にある沼津高専の専攻科を卒業しました。その後、北海道大学の大学院に進学し学位を取得しました。卒業後3年ほどは、北大の農学研究院でポストドク研究員として働いていたので、札幌には8年ほど住んでいました。北海道での暮らしは楽しいことが多かったため、このような形で再び北海道に戻ってくる事が出来てうれしく思います。

私の専門分野は「数理生物学」で、生物学に数理科学的手法やデータ解析、シミュレーションを応用して、実験や観察データのみではわからない現象の理解を目指す分野です。この分野では生物の絶滅確率を求めたり、感染症の流行予測や生物の進化過程の解明など、多種多様な研究が行われています。その中でも私は、環境変動が植物の成長戦略に与える影響に関する研究を主に行っています。ですので、都市・環境系で学ぶ土木関係はこれから皆さんと一緒に学んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

都市・環境系

助教

酒井佑禎



アの度、情報科学・工学系の助教に着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。私もこの苫小牧高専、当時の情報工学科を13年前

に卒業、専攻科を11年前に修了し、室蘭工業大学大学院に進学、そこで博士号をとりました。高専生の頃は、1年から学科展に参加し、4足歩行型ロボットの操作体験班やゲーム体験班で活動していました。講義で学んだこと、時にはまだ学んでいないことに直面、その都度手探りで解決しながら「モノを作って動かす」、「どう作るのか考える・誰かに伝える」ことに面白さを感じました。この経験は後の活動でごく役に立つものでした。そして、恩師のような教員・研究者になる事を志し、AI、ロボットについて学びました。その後は四国で6年間の教員生活を過ごし、香川高専で3年、愛媛大学で3年間教員を務め、この間、AIを搭載した自律型除草ロボットの開発、無線とAIを組み合わせた群ロボットの制御手法の開発、無線と機械学習を組み合わせた船舶衝突予防システムの開発などに従事しました。教員としてはまだまだなので至らぬ点も多いですが、私自身も試行錯誤をしながら学生の皆さんとともに勉強し、そして皆さんの将来の目標をサポートできればと思います。

情報科学・工学系

助教

杉本大志



今年度から総合人文科学系の英語担当として着任しました鈴木修平と申します。出身は道北の留萌市です。大学時代も札幌市で過ごし、大学院の2年間（つくば市）を除いて、ずっと道内暮らしです。

これまで、北海道の公立高校の英語教師として、石狩管内を振り出しに、オホーツク地域（北見市、紋別市）、そして旭川市と25年間勤務してきましたが、ご縁があり、こちらの苫小牧高専でお世話になることになりました。

私と研究との出会いは、理論と実践の両方から英語教育を捉え直したいと心に決め、現職派遣で通った大学院時代です。日本人学習者の英語リーディングの認知過程をテーマに、英文読解を促す働きかけと理解を阻害する要因について研究を重ねてきました。大切に深めてきた研究テーマですので、教育と研究の双方を担う高専で、研究にも比重を置き、時間と労力を注いでいきたいです。

人生の時間には限りがあり、私たちの意欲や活動力も有限だと思っています。私も今後の職業キャリアにおいて、何が出来るのかを問い詰めて、答えを出していきたいと考えています。初めての胆振管内そして高専での生活は新鮮で、毎日が、新たな気づきと良い刺激に溢れています。ただ、わからないことが沢山ありますので、教えてくださるとうれしいです。どうかよろしくお願いいたします。

総合人文科学系

准教授

鈴木修平



総合自然科学系の物理教員として4月から着任しました上場一慶（うえばいのり）と申します。なかなか読んでもらえない名前なので覚えてもらえると嬉しいです。出身は大阪で、神戸大学大学院の物理学専攻を修了後に京都大学の研究所で約1年間研究員として働いていました。このようにこれまでずっと関西で生活していましたが、この度は縁あって遠く離れた北海道の苫小牧高専にやってきました。

私の研究分野は、この世界を構成する最小単位として知られる素粒子について研究する「素粒子物理学」です。特に、皆さんが日常的によく知っている4次元時空（時間1次元+縦横奥行き方向の空間3次元）に加えて目には見えないほど小さい新たな空間の次元（余剰次元）が存在すると考える理論について研究することで、素粒子物理学に残された問題の解決を目指すとともに私たちの宇宙がどのようにしてできたのかという究極の謎に迫ろうとしています。高専で学ぶ専門分野とは大きく離れていますが、機会があれば皆さんにも素粒子物理の面白さを伝えることができればいいなと思っています。

北海道や高専での生活についてまだまだ慣れないことや分からないことが多々ありますが、皆さんに色々とお話しながら一緒に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

総合自然科学系

助教

上場一慶



新／留／学／生／紹／介



専攻科2年

ビンデリア トゥグストゥムル

私はラオスから来た留学生のイェンです。趣味は散歩をすることです。日本に住んで1年がたちました。去年コロナだったので6月1日に日本に着きました。東京日本語教育センターで日本語を勉強して苫小牧高専に来ました。北海道に到着した時は寒いし雪も降っていました。僕は雪を見たことがなかったので、嬉しかったです。苫小牧高専で生活して困ることがあるとチューターと先輩と先生から助けてもらいます。私は日本語が苦手ですが、先生とクラスメイトから日本語を教えてもらっています。皆さんはとても親切な人です。私のチューターは一番偉大な人です。授業の時、分からないことはチューターから説明してもらいます。

どうして日本に留学しているかと言うと、日本のアニメの『君の名は』と『ドラえもん』を見て日本へ行きたくなりました。今、私は夢を叶えることができました。とてもうれしいです。私はいつも他の人から日本の教育の質が高いと聞きました。今、日本に進学してそれは本当のことです。私はこの高専を卒業して大学に進学したいと思っています。私は将来日本で仕事をして経験をつんで自分の国を発展させたいと思います。これからよろしくお願ひします。

ジョンジャ イェンヤン

3年4組



私の名前はビンデリア トゥグストゥムルです。モンゴル高専を卒業してここに来ました。今専攻科2年生です。私の名前は完璧な鉄を意味するので、モンゴル高専の日本人の先生は私を鉄男と呼んでいます。親しい先生は、私は哲学が好きだということを知っていて、“鉄”と哲学の“哲”は同音異義語として書くことができると教えてもらい、それを知って嬉しかったです。だから私はビンデリア、トゥグス、哲男と呼ぶのです。

残念ながら、コロナウイルスのせいで到着は1年遅れましたが、私は遠隔で多くのことを学びました。今、日本に来られてとてもうれしいです。苫小牧の自然に感心しました。学生寮に着いた夜、鹿を見て本当にびっくりしたし本当にうれしかったです。

家を離れたことがないので、家族や友達が恋しいですが、気持ちが強くなっていると思っています。気分が悪い時は近くの家を見に行くと気持ちを癒しています。日本人は海があつてとてもラッキーだと思いました。海はとてもきれいでした。

苫小牧工業高等専門学校は、渡辺先生、中村先生、澤田先生がモンゴル高専に来て教えていたので、とても親近感を感じています。みなさんと友達になりたいです。バスケットボール、テニス、卓球を一緒にやって、日本文化や日本語の考え方、日本語をもっと学びたいです。

学生会の紹介



学生会は、対面式や学生総会などの司会進行、高専祭や体育大会での企画や運営が主な仕事です。その他にも学校の委員会や部活動の予算や企画をまとめています。

今年も例年同様コロナウイルスの影響により対面式が中止になりましたが、新一年生の学生会への応募が沢山届いています。その他にも部活動や同好会への入部を考えている学生が沢山います。この状況下でも楽しく学生生活を送る為に、とても良い事だと思っております。

コロナウイルスの影響が残っているなか、昨年は小規模ではありましたが、学校祭・体育大会ともに過去最高のものになりました。今年度は昨年出来なかった行事を取り入れ、前年度以上の成功を収めたいと思っています。

今年度は学生会が行事を作るのではなく、全学生がより思い出に残るような一年にします。その為にも企画する私たち自身が楽しんで活動出来るよう努めてまいります。皆様のご協力よろしくお願ひします。

学生会長 5年3組 田中叙多郎

卒業生・修了生へ贈る言葉

本科卒業生ならびに専攻科修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

また、これまで暖かく支えてくださったご家族の皆様方、心よりお慶び申し上げます。

本校の卒業生は、これまでに八千二百名を超えており、皆さんもその一員として加わることになります。また、専攻科は四百名を超える修了生がいて、広い分野で活躍されています。

本科卒業生の皆さんは、創造工学科二期生となります。創造工学やフロンティアコースなど、特色あるカリキュラムで学んだ皆さんが、将来どのような活躍をするのか、教職員はもとより、諸先輩

も大変に期待されています。専攻科修了の皆さんは、電子・生産システム工学専攻・環境システム工学専攻としては最後の修了生となりますが、それぞれに高い専門性を身に付けており、変革の時代を牽引する技術者として活躍することを確信しています。

一昨年からの新型コロナウイルスの影響で、楽しみにしていた研修旅行が中止となり、進路選択においても大変悩んだことと思います。また、遠隔授業や分散登校など、いつもとは異なる環境での学びでも多くの苦労があったと思います。しかし、すべてを乗り越えた成果の結実として、今日の日を迎えられたのです。期せずしてリモートワークやオンライン会議が急速に普及し、我が国においてもデジタル社会への転換を意味するDXの推進が叫ばれています。高専教育の特色である理論と実践に加えてリモートワークの課題と可能性を経験したことは、必ずや皆さんの将来において役立つことと確信しています。高専での日々は、皆さんのこれまでの人生のおよそ四分の一の時間となります。これから何倍もの長く輝かしい未来が待っている皆さんではありませんが、最も多感な十代の後半を過ごした本校における経験は、今後の人生における苦難を乗り越える力となることと思います。

令和四年度は、高専制度創設六十周年の年であり、これまで以上に高専の取り組みや卒業生の活

躍が世の中の注目を浴びることと思います。技術者は、単に高機能・高性能な製品を生み出すだけではなく、社会に及ぼす影響についても注意深く考える必要があります。そのためには、皆さん自身が物事を深く考え抜くことが重要です。日々進歩する技術や変化する社会に対応するためには、あらゆる場を通じて学び続けることが必要です。加えて、周りの意見に耳を傾け、自分自身の意見を明確に伝えるとともに、周囲との協調を図ることが重要です。

本校の教育理念には、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」とあります。これからもこの理念を胸に、自ら進んでさまざまな課題に取り組んでください。将来何か難しい課題にぶつかったときに、恩師である先生たちは必ずや皆さんにとって良きアドバイザーとなることでしょう。高専の門戸は卒業生・修了生にも開かれていますので、気兼ねなく訪ねてください。私たち、教職員一同、社会で活躍している皆さんと再会できることを楽しみにしています。

これからの未来社会を築くのは皆さんたちの世代です。皆さんのさらなる成長を願っています。

令和四年三月十八日

苫小牧工業高等専門学校長 小林幸徳



VOICES of Graduates

卒業生・修了生からの言葉

一期一会

電気電子系卒業生 森山碧月



5年間の学生生活は入学当初に思っていたよりもあっという間でした。新型コロナの影響で4、5年の学校行事がほとんど中止になってしまいましたが、コロナ禍だからこそ学べたことやできたこともたくさんあったと感じています。

高専は良い学びの場ではありましたが、それ以上に自分にとって大きな出会いの場でもありました。まったく違う世界観を持った友達、音楽の趣味が全く同じ先輩や先生、多趣味でセンスのいい友達など、普通に生活してはなかなかない出会いをたくさん見つけることができ、そのおかげで自分がやりたいことや好きなことを見つけることができましたと思っています。僕自身、誰かの5年間にいい影響を与えられていたらうれしいな。

最後に、本科5年間共に過ごした友人、バンドを組んだ仲間たち、学校生活や研究などでお世話になった先生方、5年間いつも応援し、見守ってくれた両親に心から感謝しています。ありがとうございました。

贈る言葉

機械系卒業生 萬田 成



まずは、無事に卒業を迎えられてホッとしているのと同時に、あっという間の5年間だったと感じています。入学、入寮当時は5年間もあるのかと思い、少し憂鬱でした。初めてのトイレや布団の中で泣いていたこともありましたが、しかし、そんな寂しさも吹き飛ばすほどに気の合う仲間にも恵まれ、学校生活、寮生活ともに充実したものとなりました。

私の人生にとって高専で出会った仲間の存在は大きいです。私から在校生の皆さんに贈る言葉があるとするれば、「仲間を大切にしてほしい」です。落ち込んだり悩んだり困っている仲間に気づいたら迷わず声をかけて助けてあげてほしい。そう思います。

最後に、支え続けてくれた家族、支えあってきた仲間、指導していただいた先生方、5年間本当にありがとうございました。また、コロナ禍でありながら、学生を第一に考え、柔軟に対応していただいた学校関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

贈る言葉

情報科学・工学系卒業生 笠松真弓



「5年間を」高専で過ごした日々は、五年という長い時間でしたが、振り返るとあっという間のことだったように感じられます。

さて、その5年間の高専生活を思い返せば、なんだか常にレポートや課題に追われていたような気がしますが、友人との交流や学校・寮の行事など、楽しいことも多くあり、大変充実した毎日を送ることができたと思います。とはいえ、順調に5年間を過ごせたわけではなく、終わらない実験や、成果の出ない卒業研究に心が折れそうになる時もありました。そんな時、助けてくれたのは先生方や友人、クラスメイト、寮生の皆さんでした。先生にはアドバイスをいただき、友人やクラスメイトとは励まし合い、寮の先輩には悩みを聞いていただきました。後輩の前では、先輩として頑張っている姿を見せなければいけないと思い、課題に立ち向かう勇気が湧いてきました。5年間の高専生活を乗り越えられたのは、そんな皆様のおかげです。

結びになりますが、ご指導くださった先生方、高専生活を共に過ごした先輩、友人、後輩の皆さん、そして高専生活を支えてくださったすべての方に心より感謝申し上げます。

5年間と贈る言葉

都市・環境系卒業生 中澤愁社



はじめに5年間ご指導いただいた先生方、並びに学校生活を支えてくださった諸職員の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

振り返ってみれば実りのある5年間だったな、とじんときます。高専の学生間では研究やレポートなどの忙しさが取沙汰にされがちですが、切り詰めていけば案外自分が自由にできる時間は多いです。私の周りにはバイトや部活動に精を出す人や資格勉強をしてスキルを身に付けようとする人、趣味に全力の人もいました。勿論なにもしない期間を作るのも手だと思えます。在校生のみなさんはこの余暇をどう使うか一度考えてみてください。一本線を引いて自分なりに有意義な時間を送ることができれば、きっと卒業を晴れやかに迎えられることでしょう。

やや説教臭くなってしまいましたが卒業生の私からこれ!と言っておきたいのは“人との繋がりを大事に”です。1人じゃ生きていけません。みなさんが縦横の繋がりと他では得難い経験を胸に次のステージへ進めることを願っています。

贈る言葉

環境システム工学専攻修了生 野田純希



はじめに、高専生活を共に過ごした友人達、部活動や研究活動を共に励んだ後輩や先輩方、支えてくださった先生方や両親にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

関わった人々に恵まれ、私は7年間にわたる高専生活をかけがえのない日々にすることができました。贈る言葉として、皆さんには周りにいる人達やこれから出会う人達を大切にしたいと思っています。私の7年間の思い出は誰かと何かをしたことばかりであり、私1人では作ることができませんでした。高専での生活は楽しい時間ばかりではなく、課題やテスト勉強に追われ、部活動との両立に悩むなど辛い時間を過ごすこともありました。しかし、辛い時に頼れる人や励まし合える人がいたからこそ乗り越えることができ、今、思い出として振り返ることができているのだと思います。

数年後、皆さんが卒業を控え、高専生活を振り返った時、そこに1つでも多くの素敵な思い出があることを願っています。

高専での出会い

応用化学・生物系卒業生 山田千春



私には高専生活5年間の中で最も心に残っている出来事があります。1年生の春、高速バスで偶然隣になった人が、書道部に勧誘してくれたことです。部活に入部して、良き仲間にも恵まれ、毎日がとても充実しました。内向的だった自分の世界が広がりました。私の人生が変わるきっかけを作ってくれたその人は、私の一番の親友です。5年間いっしょに過ごした思い出は、私の宝物です。人と出会い、関わり合うということは、自分と周りを大きく変化させ、また成長させてくれるものだと思います。在校生の皆さんも、この高専でよい出会いに恵まれることを願っています。また、その出会いをぜひ大切にしたいと思っています。いつかきつかけがえのないものになるはず。最後に、高専で出会えた先生方、友人たち、先輩・後輩の皆さん、そして一番の親友に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



卒業生父母

からの言葉

困難な時には

創造工学科応用化学・生物系卒業生／浅野美月
《父》浅野 真

卒業おめでとうございます。

みなさんは、5年前の入学時には想像さえできなかった、COVID-19の世界的な流行により、卒業までの約2年間は大変な思いをされたことでしょう。

人生を長く生きてきてつくづく思うのは、「人生はいろいろな事が起きる」という事です。ときには、何もかも嫌になり絶望感を感じることもあるかもしれません。そんなとき、人は自分を閉ざし孤独になりがちで、誰も助けてくれないと感じるかもしれませんが、上司・先輩・同僚・友人・先生・家族……誰でも良いので「相談に乗ってほしい」と声をかけてください。

自分では解決が困難な課題も、人に話すことで問題解決に繋がったり、気持ちが楽になることがあります。困難なときほど人との関わりを持つことを意識して、人生の荒波を乗り越えて行ってください。

先生、職員のみなさんありがとうございました。

卒業生のみなさんの未来が明るく、穏やかでありますように。

そして、学びは続く

創造工学科電気電子系卒業生／仲川真生
《母》仲川雅代

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これから進むそれぞれの道が、幸多いことを願ってやみません。また、5年間ご指導いただいた先生方、学校職員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

先日、専攻科に進む息子の入学式に出席しました。中学校の制服や、大人びたスーツに身を包んだ創造工学科に入学される初々しい学生さん達の姿に5年前の入学式を思い出していました。前日に入寮した息子を会場で見つけ、遠い保護者席から、お友達と仲良くできているかな？洗濯や掃除ちゃんとするかな？授業についていけるかな？と不安な気持ちでいっぱい入学式に出席していました。あれから5年。茶色く染めた髪、余裕さえ感じられる逞しくなった後ろ姿・・・

寮で過ごした3年間での決められた学習時間と周囲の先輩方やお友達のお陰でしょうか、勉強の方法と取り組む姿勢を学んだように思います。幸か不幸かコロナの蔓延による遠隔授業期間に息子の学習の様子を垣間見ることができました。食欲に学ぼうとする姿に感心しつつ、それに応えて、ご教授くださる先生方にただただ感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからも専攻科で2年間お世話になりますので、よろしく願いいたします。

退職教員からのご挨拶

退任御挨拶

人 生、予期せぬことが起こるもので、役所の技術屋から教員に転職したのが14年前です。残念ながら未だにgreenです。そんな私を支えて頂いた本校教職員を始め卒業生、学生、保護者の皆様に心から「感謝・感謝・感謝」申し上げる次第です。たくさんのお会い、凡てが私の人生を豊かにしてくれました。

赴任直後のリーマンショックに始まり、東日本大震災、校舎改修、モンゴル高専新設支援、学科改組、胆振東部地震、コロナ禍・遠隔授業の導入等、周辺環境の大きな変化を実感する毎日でした。一方皆さんには、超高齢化、高度情報化、気候変動、エネルギー変革、価値観の転換等、正に「不確実性の時代」が待ち構えています。それは、短い学生時代の単一専門教育で定年まで乗り切れるT型技術者時代が終わり、柔軟で複数の専門技術を持つπ型への進化が必要な荒波社会に違いありません。ということで「変化を先読みする挑戦型技術者たれ!」というのが、涙のRequest for you〜♪です。



都市・環境系
特任教授

栗山昌樹

ご挨拶

平 成15年10月に赴任して以来、無事定年退職を迎えることができました。その間、独立行政法人化、創造工学科創設、50年来の実験設備更新と同時進行した学科棟校舎改修などめまぐるしい変化があるなか、多くの経験をさせていただきました。

この間、人生のなかでも最も多感な時期である皆さんを導いていくことの難しさに悩みまた教育者と研究者の両立の難しさに自問自答しながら進んできました。全ての経験は、私自身を大きく成長させてくれました。今感じている一番嬉しいことは、卒業生が訪れ成長した姿を見せてくれたときや学会や企業などで活躍している姿を見たときです。

学生の皆さんにお願いすること、それは、あらゆるところで労を惜しまず、高専で学んだ英知を結集して全力投球して欲しいという点です。

最後にお世話になり支えていただきました教職員の皆様ならびに共に学びあってきた卒業生、在校生の皆さんに心からお礼申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。



電気電子系
特任教授

上田茂太

思い出から

本 校での思い出は数多くありますが、1994年に文部省在外研究員として米国東海岸にあるブラウン大学で、10か月間の研究生活をおくれたことが特に印象に残っています。写真は当時のものです。

朝8時から夕方5時まで物理学科の研究室で、理論計算をまとめ、シミュレーションプログラムをコーディングし、理論の確認を行い、論文を書き上げることに専念することができました。このとき、プログラムのコンパイルエラーが一つも出なかったのには驚きました。それだけ集中できる恵まれた環境だったと思います。

物理学科の建物内部は禁煙でした。研究合間の午前10時と午後3時頃には外で一服しましたが、よく顔を合わせる人がいたので、次第に話しをするようになりました。この人物は当時すでに物理学では有名で、後の2016年にノーベル物理学賞を受賞するコスタリツツ助教授（現教授）でした。話によると、登山家になろうと思っていたが、論文が有名になったので学者になることにしたそうです。

若いときに具体的な研究計画があるなら、積極的に留学することを勧めます。思いもよらない成果と出会いが得られると思います。



総合自然科学系
教授

加藤初儀

特別功労賞・学会賞受賞者一覧

特別功労賞

機械系	吉田	空
機械系	満保	睦
都市・環境系	高橋	那月

日本機械学会白山賞

機械系	萬田	成
-----	----	---

全国高専土木工学会近藤賞

都市・環境系	永井	祥生
--------	----	----

日本化学会北海道支部賞

応用化学・生物系	浅野	美月
----------	----	----

電気学会北海道支部長賞

電気電子系	工藤	真咲
-------	----	----

情報処理学会北海道支部工業高等専門学校奨励賞

情報科学・工学系	玉田	周太郎
----------	----	-----

精密工学会北海道支部学生奨励賞

電子・生産システム工学専攻	鳥木	瑛司
---------------	----	----

学生課からのお知らせ

本校の学生課は、担当する業務によって4つの係に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者等の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して、「担当係（担当者）に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもあります。担当係（担当者）ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。また、学生の呼び出しや伝言等の取り次ぎについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。

教務係

[直通電話] 0144-67-8001

- 授業、試験に関すること
- 休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- 在学証明書、成績証明書、卒業証明書などの学生の諸証明に関すること
- 学生証の申請に関すること
- 担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡



寮務係

[直通電話] 0144-67-8002

[学生寮教員当直室] 0144-67-8024
(夜間緊急用17:00~8:30)

- 学生の入寮及び退寮に関すること
- 寮費の徴収など諸経費に関すること
- 緊急の場合の外泊の連絡



学生係

[直通電話] 0144-67-8032

- 奨学金（日本学生支援機構等）に関すること
- 入学料、授業料の免除等に関すること
- 学生の保健管理（カウンセリングの申込等）に関すること
- 学生の課外活動、行事等に関すること
- 学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること
- 就職、進学（大学への編入学試験等）に関すること



図書係

[直通電話] 0144-67-8905

- 図書の閲覧、貸出しに関すること
- 学術文献の収集及び提供に関すること
- ノートパソコンの貸与に関すること
- その他学術情報センターに関すること



苫小牧高専サテライトオフィス 「C-base (シーベース)」が生まれ変わりました! ～2021年12月3日より本格運用開始!～

地域共同研究センター長 當摩栄路

この度、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、JST）「SCORE 大学推進型（拠点都市環境整備型）事業」の採択を受け、C-baseで起業支援（プレインキュベーション）^{*}の機能強化を行います。機能強化に伴い、スタートアップ希望者や地域企業とのつながりがますます強化されるものと確信しています。

※ここではプレインキュベーションを「起業前の段階の方がゼロからスタートし、ビジネスとしてやっていけそうだという段階のプランを支援すること」と定義します。

● SCORE 大学推進型（拠点都市環境整備型）事業について

2021年3月、大学を中心としたエコシステムの構築に向けた環境整備を推進するJSTのSCORE大学推進型（拠点都市環境整備型）に採択され、北海道大学を主幹機関とした「北海道・大学等発スタートアップ育成プラットフォーム」が設立され、苫小牧高専も共同機関となっております。

本プラットフォームは、教育・研究機関の使命の一つである研究成果の社会実装を、スタートアップという形で行うことを目的としています。また、新たなスタートアップコミュニティの形成により、大学等の機関に所属する研究者や学生のみならず、それを取り巻く様々な人々と共に事業を推進していきます。本校も高専発ベンチャー設立を目指しながら関与していきます。

● C-baseの取組について

2018年10月より、苫小牧市と苫小牧商工会議所の協力のもと、苫小牧経済センタービル2階に技術相談窓口C-baseを設け、様々な相談等に対応してきましたが、2021年4月より相談スペースを同フロア内にある約4倍の広いスペースに移転しております。この度のSCORE事業採択に伴い、さらに環境を整備し、起業支援を強化（プレインキュベーション）します。以下の機能をさらに充実します。

- ① 起業したい人たち等の「たまり場」としての機能（利用者同士の情報共有や意見交換、ゆったりと相談可能）
- ② フリーアドレスのデスクおよびミーティングスペースとミーティングBOXを整備
- ③アントレプレナー（起業家）教育の企画と実施

2021年度SCORE事業を活用して整備したプレインキュベーションとドロップインのスペース



広くなりました（従来の約4倍のスペースに）



いつでも来てください

所定の科目履修で無線従事者資格を取得できるようになりました

3月24日(木)に無線従事者免許の取得に関連する科目確認書が交付されました。これは、本校電気電子系で開設している科目が無線従事者規則で規定される無線通信に関する科目に適合していることが確認されたもので、これらの科目を履修して卒業した者は、国家試験を受験することなく、無線従事者資格（第二級陸上特殊無線技士）を取得可能となります。なお、科目確認書の交付は道内の高専では初めてです。

総務省のホームページにも報道資料が掲載されています。

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2022/0324b.html>

高専衛星KOSEN-1の実証実験成功について

高知工業高等専門学校を中心とする10高専（高知高専、群馬高専、徳山高専、岐阜高専、香川高専、米子高専、新居浜高専、明石高専、鹿児島高専、苫小牧高専）が開発した超小型衛星KOSEN-1がJAXAのイプシロンロケット5号機により、2021年11月9日9時55分16秒（日本標準時）に打ち上げられました。

このKOSEN-1衛星は、2018年12月にJAXAの革新的衛星技術実証2号機に搭載する衛星の実証テーマに選定され、50名を超える高専生を中心に2年半かけて開発されたもので、3つの新しい宇宙技術実証が予定されています。今回、最初の技術実証となる衛星の心臓部に市販のLinuxマイコンボードを使うという先進的な宇宙技術実証に成功しました。

この技術実証では、超小型で低消費電力となるLinuxマイコンボードを、衛星の心臓部となるOBC(Onboard Computer) に使用し、常時衛星で運用するという先進的な技術実証を行い、OBCと連動した搭載カメラによる地球の写真撮影にも成功しました。

KOSEN-1衛星は、大きさが10センチ四方の立方体（1U）を縦に二つ重ねた超小型サイズ（2Uのキューブサットで寸法は10cm×10cm×23cm）で、重量は2.6kgとなっています。

このKOSEN-1衛星では、木星電波観測技術実証衛星として、下記のような2Uのキューブサットにおける新しい3つの宇宙技術の実証を目指しています。

- 1 超小型Linuxマイコンボード Raspberry Pi CM1ベースのOBCの宇宙実証
- 2 デュアルリアクションホイールによる超高精度姿勢制御の宇宙実証
- 3 木星電波観測用6.6m長ダイポールアンテナ展開技術の宇宙実証

今回、キューブサットと呼ばれる超小型衛星の心臓部のコンピュータ（OBC）に、市販のLinuxマイコンボードを使うことにより、高度な衛星用ソフトのプログラミングを初心者にも学びやすいプログラミング言語のPythonで行うことを可能とし、多くのプログラム開発者が分散してソフト開発ができることを実証することができました。

このOBCは、超小型で低消費電力となるLinuxマイコンボードのRaspberry Pi Compute Module 1（CM1）を使うことにより、LinuxのOS上での膨大なリソースを使うことが可能となりました。また、市販のCM1ボードを使うことにより、OBCのハード的なシミュレーションも容易に行うことができるようになりました。このOBCのソフト開発においては、CM1ボードを使って開発するプログラムをインターネット上で共有することにより、各ミッションのソフト開発が行われました。この方法により、多くの高専生が参加する新しい分散型OBCソフト開発が実現できました。

【注記】

Linux: コンピュータを動かす基本ソフト（OS）

Raspberry Pi: 世界的に広く普及している教育や産業用のLinuxベースのマイコンボード



2022年3月16日に取得されたKOSEN-1衛星が撮影した日本上空の画像データ（搭載した広角カメラによるもので、右下斜め方向に九州、四国、紀伊半島が見られる）

2021年度本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況について

2021年度卒業生進路状況							
系	機械系	都市・環境系	応用化学・生物系	電気電子系	情報科学・工学系	合計	
求人社社数	620	465	437	636	531	2,689	
卒業生数	男	38	26	22	34	23	143
	女	3	11	9	7	5	35
進学者数	男	12	10	9	10	7	48
	女	1	4	4	2	1	12
企業等	男	26	14	13	23	15	91
	女	1	5	5	5	4	20
公務員	男	0	2	0	1	0	3
	女	1	2	0	0	0	3
進学先	室蘭工業大学(4) 北見工業大学 千葉大学工学部 豊橋技術科学大学(2) 苫小牧高専専攻科(5)	室蘭工業大学 北見工業大学 弘前大学理工学部 長岡技術科学大学(2) 金沢大学理工学域(2) 岐阜大学工学部 豊橋技術科学大学 琉球大学工学部 東京都立大学都市環境学部 苫小牧高専専攻科(3)	北海道大学工学部(2) 室蘭工業大学 東京工業大学 豊橋技術科学大学(3) 苫小牧高専専攻科(6)	室蘭工業大学 長岡技術科学大学(2) 豊橋技術科学大学(3) 苫小牧高専専攻科(6)	岐阜大学工学部 豊橋技術科学大学(4) 岡山大学工学部 九州大学芸術工学部 苫小牧高専専攻科		
就職先	(一社)日本血液製剤機構 SUBARUテクノ(株) アイリスオーヤマ(株) いすゞエンジン製造北海道(株) カルビー(株) キリンビール(株)横浜工場 サントリーホールディングス(株) パナソニックインダストリアルソリューションズ社 ファナック(株) 富士石油(株) フジテック(株) 王子エンジニアリング(株) (株)SUBARU (株)シーグス (株)シマノ (株)ダイナックス (株)マイスターエンジニアリング (株)日立ハイテクフィールドディング 出光興産(株) 北海道製油所 大日精化工業(株) 東レ(株) 東京食品機械(株) 東京水道(株) 東芝プラントシステム(株) 日鉄テックスエンジニア(株) 日東電工(株) 日本製鋼所M&E(株) 北海道	オリエンタル白石(株) ジェイアール北海道エンジニアリング(株) 東海旅客鉄道(株) 東京ガス(株) 東京水道(株) ドーピー建設工業(株) 戸田建設(株) 西松建設(株) 日本高圧コンクリート(株) 日本データサービス(株) 北海道ガス(株) 北海道電力(株) 北海道土地改良事業団体連合会 宮坂建設工業(株) (株)鴻池組 (株)シビテック (株)水工技研 (株)ネクスコ・メンテナンス北海道 (株)北海道水工コンサルタンツ 北海道開発局(3) 北海道警察	(一財)材料科学技術振興財団 (一社)日本血液製剤機構 DIC(株) ENEOS(株) サントリーホールディングス(株) ダイキン工業(株) 東邦化学工業(株) 山崎製パン(株) 王子製紙(株) (株)フルヤ金属 (株)北海道LIXIL製作所 (株)明治 (株)協和エクシオ (株)日本触媒 関東化学工業(株) 星光PMC(株) 大日精化工業(株) 第一三共ケミカルファーマ(株)	(一社)日本血液製剤機構 KDDIエンジニアリング(株) NTT東日本グループ会社 アズビル(株) アマゾンジャパン合同会社 カルビー(株) キヤノンマーケティングジャパン(株) コニカミノルタジャパン(株) フジテック(株) 旭化成(株) 王子製紙(株) (株)J-POWERハイテック (株)NHKテクノロジーズ (株)タマディック (株)明電エンジニアリング 三菱電機ビルテクノサービス(株) 雪印メグミルク(株) 村田機械(株) 竹田設計工業(株) 中部電力(株) 東芝エレベータ(株) 日鉄テックスエンジニア(株) 日本オーチス・エレベータ(株) 日本ノーベル(株) 北ガスジェネックス(株) 北海電気工事(株) 北海道電力(株) 北都システム(株) 札幌市	NTTデータソフィア(株) ウナリステクノロジーズ(株) エイチ・テー・ピー映像(株) 社会福祉法人緑陽会 セイコーエプソン(株) テコム(株) 東芝ITサービス(株) 旭化成(株) (株)NHKテクノロジーズ (株)アイ・エス・ピー (株)エスイーシー (株)シーズ・ラボ (株)ソルクシーズ (株)テクノラボ (株)ハイマックス (株)メンパーズ(2) 日鉄テックスエンジニア(株) 北海道電力(株)		

2021年度修了者進路状況				
専攻	電子生産システム工学専攻	環境システム工学専攻	合計	
求人社社数	590	494	1,084	
修了者数	男	10	4	14
	女	—	2	2
進学者数	男	3	1	4
	女	—	2	2
企業等	男	7	2	9
	女	—	0	0
公務員	男	0	1	1
	女	—	0	0
進学先	豊橋技術科学大学大学院 熊本大学大学院 九州工業大学大学院	北海道大学大学院(3)		
就職先	ENEOS(株) 鹿島製油所 ウェルネット(株) ソフトバンク(株) 富士電機(株) (株)VOYAGE GROUP (株)ソルクシーズ (株)富士通エフサス	JFEシビル(株) (株)エーティック 江別市		

2021年度の進路状況の特徴としては、コロナ禍での景気後退の影響により本科生対象の求人社社数が昨年度まで9年連続増加していたのが、減少に転じた(最近7年をみると2021年度は2,689社、2020年度は3,160社、2019年度は2,926社、2018年度は2,884社、2017年度は2,668社、2016年度は2,418社、2015年度は2,256社)。また専攻科生の求人社社数も本科同様減少しています(2021年度は1,084社、2020年度は1,303社、2019年度は1,083社、2018年度は968社)また、本科生178名(内35名が女子)の卒業生の進路は、40名が道内就職、77名が道外就職、60名が進学する結果となりました。全就職者数に対する道内就職率の推移は2015年度44%、2016年度41%、2017年度40%、2018年度24%、2019年度38%、2020年度38%、2021年度34%となっています。今後、コロナ禍に加えて、ウクライナ侵攻に伴うエネルギー高騰、経済制裁、および超円安の影響が強く出てくると思われます。正確な集計はまだ行っていませんが今年度も求人数は減少傾向にあるようです。

本校の学生は、コロナ禍、国際社会秩序の変動、少子高齢化、人口減少、産業構造の変化、環境問題等の困難な時代を生き抜いていかなければなりません。企業の事業集約は競争力確保のため進んでいくでしょうし、事業再編のための希望退職募集などは珍しくありません。このような中で、仕事に対する自己イメージを持たせるような教育は重要であり、いくつになっても常に自分自身のキャリア・デザインができるような素地をこの高専の在学中に作る必要があります。2022年度も引き続き苫小牧高専卒業生により運営される同窓会「樽前会」及び苫小牧高専を支援して下さる地元産業界を中心とした企業の集まりである「協力会」と強く連携してキャリア教育に力を入れていきます。どんな困難な状況の中でも苫小牧高専の卒業生が引き続き社会で必要とされる人材として社会に羽ばたいていけるよう、樽前会そして協力会の力を借りて我々もより一層の努力をする覚悟であります。

キャリア教育センター長 見藤 歩

教育理念 豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学生の学習目標

- I 人間性: 正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- II 実践性: 創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- III 国際性: 世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

専攻科学生の学習目標

- I 人間性: 他者と協働し、未来の社会に寄与する、豊かな人間性と教養及び広い視野を身につける。
- II 創造性: 工学分野における専門的な知識と経営的知識に加え、複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- III 国際性: 地域や国際社会で活躍するための教養とコミュニケーション能力及び相互理解の精神を身につける。

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

国際交流の目的

広く世界の文化について理解し、国際的視野をもって、世界や地域社会で活躍する実践的人材を育成することを国際交流の目的とする。また、教職員の国際感覚を磨き、グローバルかつ先進的な教育・研究を推進する。

人事異動

○令和4年2月18日付

非常勤教職員

【雇用期間の満了】
技術補佐員(山本椋太特命助教授研究室) 鳥木 瑛 司

○令和4年2月25日付

非常勤教職員

【雇用期間の満了】
技術補佐員(菊田和重教授研究室) 野中 響 己

○令和4年2月28日付

非常勤教職員

【辞職】
総務課財務係事務補佐員 久 慈 智 子

○令和4年3月31日付

教育職員

【定年退職】

創造工学科教授(応用化学・生物系担当) 橋 本 久 穂
創造工学科教授(総合自然科学系担当) 加 藤 初 儀
創造工学科教授(総合自然科学系担当) 山 下 徹
創造工学科准教授(総合自然科学系担当) 坂 下 俊 彦

【雇用期間の満了】

創造工学科特任教授(都市・環境系担当) 栗 山 昌 樹
創造工学科特任教授(電気電子系担当) 上 田 茂 太
特命教授 玉 置 昭 文

事務職員・技術職員

【定年退職】

事務部長 横 道 勤
技術教育支援センター専門員 蘇 武 栄 治

【辞職】

学生課長 相 内 征 也
(室蘭工業大学入試戦略課長)

総務課施設管理係長

佐々木重晴
(北海道大学施設部施設整備課付係長)

総務課施設管理係主任

城 弘 次
(北海道大学施設部環境配慮促進課主任(機械保全担当))

【復帰・辞職】

総務課一般職員 新 井 田 知 果
(北海道大学北キャンパス合同事務部総務担当)

【雇用期間の満了】

学生課学生係事務補佐員 清 野 沙 奈 恵
学生課寮務係臨時事務員 遠 田 芳 紀
学生課図書係事務補佐員 瀧 澤 哲
学生課図書係事務補佐員 鳥 木 瑛 司
技術補佐員(三上剛教授研究室) 齋 藤 有 杜
技術補佐員(村本充教授研究室) 尾 田 龍 司
技術補佐員(高橋労太教授研究室) 高 橋 杏 介

【併任の解除】

総務課調達係長 佐 藤 規 久
(総務課長)
総務課施設管理係長 野 叻 敏 洋
(総務課長補佐(財務担当))

○令和4年4月1日付

教育職員

【採用】

創造工学科准教授(総合人文科学系担当) 鈴 木 修 平
創造工学科助教(都市・環境系担当) 酒 井 佑 楨
創造工学科助教(情報科学・工学系担当) 杉 本 大 志
創造工学科助教(情報科学・工学系担当) 山 本 椋 太
創造工学科助教(総合自然科学系担当) 上 場 一 慶
創造工学科特命助教(機械系担当) 金 子 友 海
特命教授 栗 山 昌 樹

【昇任】

創造工学科准教授(機械系担当) 土 谷 圭 央
創造工学科准教授(都市・環境系担当) 加 藤 晃

【再雇用】

創造工学科特任教授(総合自然科学系担当) 山 下 徹
創造工学科嘱託教授(応用化学・生物系担当) 橋 本 久 穂
創造工学科嘱託准教授(総合自然科学系担当) 坂 下 俊 彦

【雇用更新】

創造工学科特任教授(情報科学・工学系担当) 三 河 佳 紀
創造工学科特任教授(総合自然科学系担当) 中 野 涉
創造工学科特任准教授(総合自然科学系担当) 堀 登 代 彦
創造工学科嘱託教授(総合自然科学系担当) 蓼 沼 正 美

事務職員・技術職員

【採用】

事務部長 高 見 守 亮
(帯広畜産大学入試・教務課長)
総務課施設管理係長 土 門 智 広
(北海道大学施設部環境配慮促進課係長(建築保全担当))
総務課企画調査係事務補佐員 高 野 みのり

学生課キャリア教育センター事務補佐員 石 岡 真 弓
学生課寮務係臨時事務員 鈴 木 健 司
学生課図書係事務補佐員 戸 島 華 蓮
学生課図書係事務補佐員 新 田 靖 周

【昇任】

総務課調達係主任 小 幡 修 平
(総務課調達係一般職員)

【配置換え】

学生課長 石 井 孝 宏
(釧路工業高等専門学校学生課課長補佐)

総務課総務係長

大 西 朋 子
(学生課学生係長)

総務課調達係長

鈴 木 良
(総務課企画調査係長)

学生課学生係長

後 藤 悠 介
(総務課総務係長)

総務課財務係事務補佐員

山 口 麻 美
(学生課キャリア教育センター事務補佐員)

学生課学生係事務補佐員

三 浦 彩
(学生課図書係事務補佐員)

【再雇用】

技術教育支援センター嘱託職員 蘇 武 栄 治

【雇用更新】

技術教育支援センター嘱託職員 照 井 文 哉

【併任】

総務課企画調査係長 岡 本 明 彦
(総務課課長補佐(総務担当))

○令和4年5月24日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員(甲野教授研究室) 相 内 優 里

○令和4年6月1日付

非常勤教職員

【採用】

学生課学生係事務補佐員 佐 藤 雪 捺
技術補佐員(甲野裕之教授研究室) 長 岡 佑 哉
技術補佐員(甲野裕之教授研究室) 山 下 響 生
技術補佐員(藤田彩華助教授研究室) 佐 々 涼 水

○令和4年6月6日付

非常勤教職員

【採用】

学生課教務係事務補佐員 齊 藤 陽 子

高専通信

vol.159 contents

- | | | | | | |
|---|-------------------------------|----|------------------------------|----|--------------------|
| 1 | 新入生へ贈る言葉 | 6 | 卒業生・修了生へ贈る言葉 | 11 | 産学連携関係 |
| 2 | 在校生からのメッセージ
第1学年担任からのメッセージ | 7 | 卒業生・修了生からの言葉 | 12 | トピックス |
| 3 | 各副校長ご挨拶 | 8 | 卒業生父母からの言葉
卒業式写真 | 13 | 進路状況 |
| 4 | 新任教員ご挨拶 | 9 | 退職教員からのご挨拶 | 14 | 教育理念・学習目標等
人事異動 |
| 5 | 新留学生紹介
学生会 | 10 | 特別功労賞・学会賞受賞者一覧
学生課からのお知らせ | | |

編集後記

例年になく雪の多かった冬が終わり、最近やっと暖かくなってきて春を実感しているところです。

今回の高専通信第159号では、令和3年度末から令和4年度初めにかけての本校の動きを、お届けします。

3月には苫小牧市民会館にて、卒業式が挙行され、178名の本科生と、16名の専攻科生が学び舎を巣立っていきました。

4月には本校第2体育館にて、入学式がとり行われ、212名の新1年生、1名の留学生、21名の専攻科生を新たに迎えました。

また、5名の教員が新たに赴任しております。

従来と比べると、いろいろな制約はありましたが、今回も卒業式、入学式を無事挙行できたことは、何よりかと思えます。

授業や課外活動については、新年度当初は、平常に近い形でスタートできました。しかし、まだまだ、感染対策については、油断ができない状況です。本校の種々の活動が通常通りできるようになることを、願ってやみません。

最後になりますが、最新の情報は、本校HPやFacebookも併せてご覧いただければと思います。日々、状況が変化致しますが、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

総務主事補 稲川 清

[高専通信に関するお問い合わせ先]

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係 ☎059-1275 苫小牧市字錦岡443
TEL.0144-67-0213 [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

